

軍用地借料 960億円計上

【東京】防衛省は2013年度概算要求で、軍用地の賃借料として計960億4400万円（前年度比0・3％減）を計上し、単価は3・5％増で算定した。一方で、県軍用地等地主会連合会（土地連）は4・2％増を要望しており、同省は年末の予算編成まで土地連との協議を継続する考え。

単価がアップしたにもかか

わらず借料全体が微減となったのは、12年度予算で20年に1度の契約で地主に支払う更新協力費約30億円が必要だったが、13年度は更新対象者が前年度より少ないため、協力費が約1億2千万円にとどまったことが主な要因となっている。

また、12年度は契約更新を拒否する地主の土地を強制使用するための補償費約30億円を確保していたが、13年度は更新を拒否する地主がいないため補償費は計上していない。